



平成27年3月20日

## 「植物工場管理経営士」新たに14名誕生

平成26年度「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」修了式を行います。

先端農業・バイオリサーチセンターで実施する「最先端植物工場マネージャー育成プログラム」の修了式を下記のとおり行います。

今回2期生14名が修了となり、修了生には、大西学長から『植物工場管理経営士』と『IT食農先導士』の2つの称号が授与されます。

修了生は、他の人材育成事業修了生とともに『IT農業ネットワーク』を形成し、本地域における農業分野の活性化に貢献していきます。

### 記

- 日時：平成27年3月24日(火)10:00~10:30  
場所：豊橋技術科学大学 A2-101講義室  
内容：  
1. 開式の辞  
2. 「植物工場管理経営士」「IT食農先導士」称号授与  
3. 学長式辞  
4. 『優秀成績賞』『課題研究優秀賞』授与  
5. 修了生答辞  
6. 閉式の辞

### 本件に関する連絡先

担当者：先端農業・バイオリサーチセンター 事業推進室 TEL:0532-44-6655  
広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

# 最先端植物工場マネージャー育成プログラムの開発及び実施

**無料**

## 事業目的

浜松・東三河地域は我国で最も農業が盛んな地域であり、とりわけ東三河地域は施設園芸発祥の地であり110年余の歴史を持つが、本地域の農業生産額は、平成7年度の1650億円を頂点に現在では100億円程度低減している。本プロジェクトでは最新の光、電子技術を基盤とした最先端施設園芸としての植物工場を管理運営できる人材を養成する。これにより、本地域を環境に左右されない定時、定量、定質でかつ安定な新農業を可能とする植物工場の研究開発拠点化し、東三河地域、ひいては我国農業の活性化を図る。

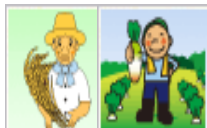
## 目指す人材像

システマティックな工学的思考と技術、日々変化する生産現場の状況にファジーに対応できる農学的思考と技術を併せ持ち、植物工場の管理、運営に必要な広範な基礎知識を習得し、安全で高品質、高収量生産と安定した植物工場経営ができる人材を養成する。

修業年限：二年  
一期：10名  
(計4期40名)

応募資格：高等学校卒業程度の学歴を有し、eラーニングを受講可能な人

## 教育プログラム



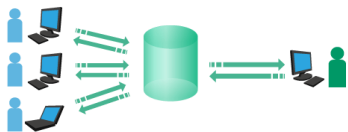
農業者  
農業生産法人  
企業など

## 植物工場マネージャー

〔植物工場管理経営士  
IT農最先導士〕の称号授与



教室講義で連帯感をつくったのちeラーニングで自宅学習



## 太陽光型植物工場

生産現場の栽培管理、品質管理、GAP、統合環境制御を体得する



## 人工光型植物工場

植物診断、光合成環境、養液診断、複合制御管理を習得し、品質、衛生管理を実習する



## コンソーシアム

- 豊橋技術科学大学  
先端農業・バイオリサーチセンター  
(名古屋大学、千葉大学、東海大学、東京農工大学などに講師依頼)
- 民間企業  
(株)サイエンスクリエイト、イシグロ農材(株)、大仙(株)、トヨハン種苗(株)など
- 自治体  
愛知県、浜松市、豊橋市などの地域自治体

## 協力機関

- 団体  
JA、地域5信用金庫、植物工場開発・普及研究会、(株)とよはしTLO
- 海外  
イシグロ農材(株)オランダ支店、ワーゲニンゲン大学

【問い合わせ先】

豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター  
TEL: 0532-44-6655 FAX: 0532-81-5108  
http://www.recab.tut.ac.jp Email: manager@recab.tut.ac.jp

